

液体袋吸着ハンド

アルトリスト、食品に提案

アルトリスト（東京都調布市、橋田浩一社長）は、液体の入ったピロー袋のハンドリングを行う電動拡張ハンドシステムを開発した。液体入りの袋をロボットハンドで持ち上げると液体があちこち動いて重心が変わり、落下してしまうため自動化が困難だった課題を、吸着部の重心を口シカルに割り出す方法で解決した。同システムは消費税抜き価格は2000万円を予定し、年間5万の販売を目指す。

吸着部の重心位置を割り出す方法は電気通信大学の金森哉史研究

室との共同研究で、特許も出願した。力学センサー、真空センサーの2種類のセンサーで、袋のどの部分で吸着すれば持ち上げた際に液体重量によって垂れ下がり、袋が落ちてしまわないかを計算。反対側に力をかけることで落下を防ぐ。レー



液体の入った袋を持ち上げてても袋が落下しないが原則だが、客先の事情により既存ロボットへの後付けも可能という。油や液卵、牛乳関係など幅広い液体食品に提案する。

6月215日に東京ビッグサイト（東京都江東区）で開く食品製造総合展「FOOD JAPAN 2026」に出展する。

液体の入った袋を持ち上げてても袋が落下しないが原則だが、客先の事情により既存ロボットへの後付けも可能という。油や液卵、牛乳関係など幅広い液体食品に提案する。

6月215日に東京ビッグサイト（東京都江東区）で開く食品製造総合展「FOOD JAPAN 2026」に出展する。